

臨床推論

1 ユニットの概要

第5学年で開講される臨床推論は、第1～4学年までに修得した基礎医学・臨床医学の知識を整理させるべく、臨床各科がそれぞれの領域で国家試験を重視した重要な症候・疾患を講義テーマとして選定し開講するものである。社会医学、医療倫理学、地域医療学等の幅広い内容を含む。

これによって、正しい医学知識を修得するとともに、主訴から治療に至る思考過程を訓練し問題解決能力・応用力に富んだ医師としての素地を培うことを目的とする。

2 金沢医科大学の学修成果

- I 豊かな人間性と倫理観
- II 生涯学習
- III 医学知識と技術（診療の実践）
- IV 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- V 地域医療・社会貢献・国際貢献
- VI 科学的態度・探究心

3 ユニットの学修成果

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- ・ 基礎医学、臨床医学の知識を整理し、知識を定着させることができる（①②⑤⑥）
- ・ 正しい医学知識を習得し、主訴から治療にいたる思考過程を学ぶことができる（③）
- ・ 各領域の臨床的諸問題に対して初期計画（診断、治療、教育）を立案できる（③④）
- ・ 各領域の主要な症候・疾患における病態生理、組織学的・臨床的特徴、診断基準を説明できる（②③）
- ・ 各領域の主要な症候・疾患における必要な検査、治療、合併症、予後の要点を説明できる（③⑥）
- ・ 各領域において重要な症候・疾患を学ぶことで、問題解決能力・応用力に富んだ医師としての素地を培うことができる（①②⑤⑥）

4 学修方略

前期は全体講義を講義形式とし、後期は学生主体のグループ学習期間とする。授業計画については別に示す。

5 予習内容

別に示された授業計画に基づき、各講座に関連する内容及び略語を含む専門用語を再度確認しておく

こと。

シラバスの資料があればあらかじめ目を通しておくこと。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1 時限あたり 予習：30 分、復習：30 分

6 評 価

臨床推論の成績評価は、標準試験成績とする。

7 教 育 担 当 者

責任者 : 学年主任

担当教員 : 各科の講義担当教員

講義時間数（専門教育科目）

科目名	授業時間数	
	前期	後期
臨床推論	100	